

# 南正己

みなみ・まさみ

神戸商船大学学長、工学博士、勲二等旭日重光章

## 経歴

生:大正7年(1918年)6月28日、尾道市高須町生まれ

没:平成22年10月21日、享年93歳

|                                    |            |   |
|------------------------------------|------------|---|
| 昭和11年(1936年)3月                     | 18歳        | 広島県立福山誠之館中学校卒業  |
| 昭和16年(1941年)8月                     | 24歳        | 神戸高等商船学校機関科卒業(修業年限5年6月を1月短縮)                                    |
| 昭和16年(1941年)8月                     | 24歳        | 国際汽船株式会社入社  |
| 昭和16年(1941年)9月～<br>昭和17年(1942年)6月  | 24～<br>25歳 | 陸海軍軍属として作戦に従事   |
| 昭和17年(1942年)7月                     | 25歳        | 海軍に充員召集され、艦隊勤務  |
| 昭和18年(1943年)4月～<br>昭和20年(1945年)3月末 | 25～<br>27歳 | 神戸高等商船学校で訓育官として服務   |
| 昭和20年(1945年)4月                     | 27歳        | 砲艦興津機関長兼分隊長(支那方面艦隊)   |
| 昭和21年(1946年)3月                     | 28歳        | 復員  |
| 昭和22年(1947年)3月                     | 29歳        | 運輸省海技専門学院(昭和20年4月神戸高等商船学校は清水に統合、名称変更)常勤講師                       |
| 昭和22年(1947年)10月1日                  | 30歳        | 運輸教官海技専門学院教授  |
| 昭和27年(1952年)6月                     | 35歳        | 文部教官神戸商船大学助教授(神戸商船大学開設)   |
| 昭和37年(1962年)3月                     | 44歳        | 京都大学より工学博士(旧制)の学位授与   |
| 昭和37年(1962年)10月                    | 45歳        | 神戸商船大学商船学部教授  |
| 昭和38年(1963年)3月                     | 45歳        | 1ヶ年間の文部省在外研究員として、英国・米国・スイス・ドイツ・デンマークに出張(主な滞在先:ロンドン大学インペリアルカレッジ) |
| 昭和44年(1969年)3月                     | 51歳        | 神戸商船大学学長事務代理(大学紛争時5月まで)   |
| 昭和52年(1977年)4月                     | 59歳        | 神戸商船大学図書館長  |
| 昭和52年(1977年)10月                    | 60歳        | 神戸商船大学学長事務取扱  |
| 昭和53年(1978年)1月～<br>昭和57年(1982年)1月  | 60～<br>64歳 | 神戸商船大学学長  |

|                                   |            |                          |
|-----------------------------------|------------|--------------------------|
| 昭和53年(1978年)10月                   | 61歳        | 神戸学術訪中団副団長として中国を訪問講演会    |
| 昭和57年(1982年)1月                    | 64歳        | 神戸商船大学学長を退任し名誉教授         |
| 昭和58年(1983年)4月～<br>昭和63年(1988年)3月 | 65～<br>70歳 | 大島商船高等専門学校校長             |
| 昭和58年(1983年)10月                   | 66歳        | 文部省大学設置審議会委員(高専分科会、任期2年) |
| 昭和59年(1984年)11月                   | 67歳        | 産業教育100周年式典にて教育功労者として表彰  |
| 昭和63年(1988年)3月                    | 70歳        | 大島商船高等専門学校校長を退任し名誉教授     |
| 平成元年(1989年)11月                    | 72歳        | 勲二等に叙せられ旭日重光章            |

### 生い立ちと学業、業績

昭和16年(1941年)8月、神戸高等商船学校機関科を卒業し、直ちに国際汽船株式会社へ入社した。

しかし、その1か月後の9月、陸海軍軍属として作戦に従事し、翌年の昭和17年(1942年)7月には、海軍に充員召集されて艦隊勤務となった。

昭和18年(1943年)4月には、母校の神戸高等商船学校に訓育官として戻り、服務した。戦局とみに悪化した昭和20年(1945年)4月、支那方面艦隊の砲艦「興津」機関長兼分隊長となり、作戦に従事した。

間もなく8月敗戦となり、翌昭和21年(1946年)3月復員した。

昭和22年(1947年)3月、運輸省海技専門学院(昭和20年4月神戸高等商船学校は清水に統合され、名称変更した)の非常勤講師となり、また同年10月教授となった。

昭和27年(1952年)6月開設された神戸商船大学助教授となった。

昭和37年(1962年)3月工学博士(京都大学)の学位を取得した。

同年10月同大学商船学部教授となった。

昭和38年(1963年)3月文部省在外研究員として、英・米・スイス・ドイツ・デンマークに1か年出張し、その中でも主としてロンドン大学インペリアルカレッジに滞在した。

昭和44年(1969年)3月神戸商船大学学長事務代理、昭和52年(1977年)4月同大学図書館長、10月同大学学長事務取扱、昭和53年(1978年)1月同大学学長の要職を歴任し、大学の運営発展に大いに尽力した。

昭和53年(1978年)10月には神戸学術訪中団副団長として中国を訪問し、講演会も行った。

昭和57年(1982年)1月神戸商船大学学長を任期満了で退任し、名誉教授となった。

昭和58年(1983年)4月、これまでの経験を買われて、大島商船高等専門学校校長に就任

し、同校発展に尽力した。

同年10月には、文部省大学設置審議会委員(高専分科会、任期2年)に任命された。

昭和59年(1984年)11月産業教育功労者表彰を受けた。

昭和63年(1988年)3月大島商船高等専門学校校長を退任し、名誉教授となった。

平成元年(1989年)11月勲二等に叙せられ、旭日重光章を受章した。

2004年10月5日記、石井和佳(昭和25年卒)

2004年10月5日更新:本文追加●2005年1月14日更新●2005年1月28日更新:本文●2005年2月3日更新:経歴●2005年4月27日更新:肩書・経歴●2006年5月30日更新:タイトル・連絡先(削除)●2008年8月8日更新:経歴●2009年12月10日更新:経歴●2010年11月10日更新:経歴●